

金沢医科大心臓血管外科
学 永吉靖弘教授が心臓に
内視鏡を使って不整脈を治
療すると同時に、血の塊「血
栓」をつくり脳梗塞の原因
となる「左心耳」を除去す
る、心房細動の新たな手術



金沢医科大
永吉靖弘教授

法を導入した。患者の体の
負担が小さく、術後は血液
抗凝固薬の服用も不要なの
が特長で、昨年1月から患
者9人に手術を行い、経過
はいずれも順調という。
新たな手術法はニューハ

不整脈を治療

脳梗塞の原因除去

ト・ワタナベ国際病院
(東京)の大塚俊哉医師ら
が2003年ごろに考案
し、通称「ウルフーオオツ
方法」と呼ばれる。同大に
よると、国内でこの手術法
を行える医師はまだ少な

り、長期の服用は費用もか
さむ。アレルギーや腎機能
の低下で、服用が困難な患
者も多い。
ほかにも心臓にカテーテ
ルを使用し、原因部分を焼
く「アブレーション」とい

体の負担が大きい。
ウルフーオオツ方法では
胸に直径約1センチの穴を4カ
所開けて内視鏡を挿入、ア
ブレーションと左心耳の除
去を同時に行う。左心耳の
みの除去も可能で、入院は

2%以上が心房細動とさ
れ、社会の高齢化に伴って
患者は増加傾向にある。永
吉教授は「ウルフーオオツ
方法の手術で脳梗塞への不
安を取り除き、患者さんの
QOL(生活の質)を高め
たい」と話す。

心房細動に新手術法

昨年1月から9例、経過順調

く、永吉教授は大塚医師に
師事して習得した。

心房細動は血栓ができな
いよう血液抗凝固薬を服用
するのが一般的な治療だ
が、いったん出血すると止
まらないなどの副作用があ

われる手術があるが、1度
の手術で治らないケースが
多い上、左心耳が残るため
再発に注意しなければなら
ない。人工心肺装置を使っ
て開胸し、アブレーション
と左心耳除去を行う手術は

1週間ほどで済む。ウルフ
ーオオツ方法を含む「胸
腔鏡下左心耳切除術」は4
月に保険適用対象となっ
た。

永吉教授によると、80歳
以上の男性は4%、女性は



心房細動 加齢と
ともに増える不整脈
の一種で、心臓の拍
動が不規則になり、
動悸(どうき)やからつきな
どの症状が生じるほか、心臓
の働きが悪くなると左心耳と
呼ばれる場所で血液がよど
み、血の塊「血栓」ができや
すくなる。血栓がはがれて血
流に乗り、脳の太い血管に詰
まると重い脳梗塞を起す。
脳梗塞の原因となる血栓の約
3割は心臓でできるとされ
る。